



教育目標 「 自律 敬愛 探求 」

〒133-0043 江戸川区松本1丁目36番1号

URL <https://edogawa.schoolweb.ne.jp/shikamoto-j/>



## 勉強は復習することが大切

校長 加納 学

今から40年以上前の話になりますが、私が中学2年生の1学期のときの事です。当時、私はたいへん勉強のできない生徒で、このままの成績では高校への進学は厳しい状況でした。全く学習意欲のない私に対して、担任の先生は勉強の方法を教えてくださいました。それは、毎日家に帰ったらその日の授業の教科書とノートを開いて、学習した内容を思い出すというものでした。5～10分でいいから、授業のあった日は毎日すると良いと言われ、そのくらいならできると思った私は毎日実行してみました。学習内容を思い出すために、授業も集中して聴くようになりました。少しずつ成績は上がり、いろいろな勉強法も身に付け、特に興味をもった数学は、テストで満点を取れるほどになりました。高校も私立の大学付属高校に入学することができました。あのとき勉強を始めていなかったら、高校には進学せずに就職していたかもしれないし、おそらく今は校長になっていなかったと思います。

6月の全校朝礼で復習の大切さについて話しました。図1は、ドイツの心理学者エビングハウスが実験結果から作成した忘却曲線と呼ばれるグラフです。縦軸は節約率（もう一度覚え直すためにかかる時間を節約できる割合）、横軸は経過時間となっています。単純にどのくらい記憶が残っていくかというグラフではないですが、時間が経てば経つほど覚えたものが頭の中から消えていくということになります。もしも、夏休み中に全く勉強しないでいると、1学期の学習内容は頭の中からほとんど消えてしまいますので、気を付けてください。

図2は、カナダのウォータールー大学の実験による研究結果です。一度学習した内容を、24時間以内に10分間の復習をする。一週間以内に5分間の復習をする。1か月以内に2～4分の復習をすると効果的で、記憶が保持されていくというものです。このように復習を何度も繰り返すことで、学習した内容を忘れないようにしていくことができます。私の中学時代の担任は、このことを知っていたのだと思います。皆さんも、復習を大切にして、学習効果を高めてください。

エビングハウスの忘却曲線

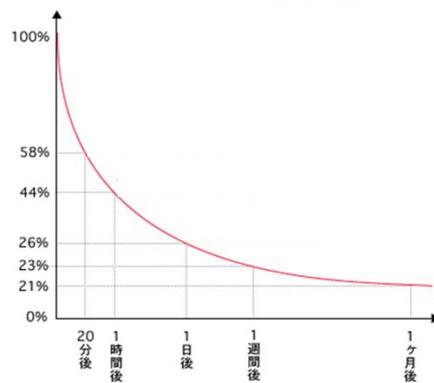


図1

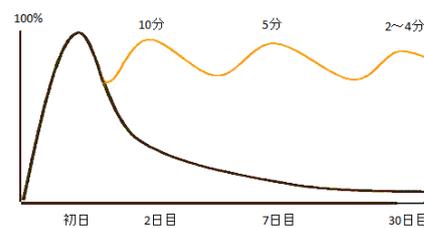


図2

## 今後の行事予定

7月20日 終業式

21日 夏季休業日始

8月14～17日 学校閉庁日

30日 三者面談終

31日 夏季休業日終

9月 1日 始業式 集団下校訓練

4日 学校公開週間始 給食始

7日 専門委員会 中央委員会

9月 9日 学校公開週間終 学校説明会

PTA役員会

11日 生徒会朝礼

13～15日 移動教室(2年)

22日 生徒会役員選挙

25日 全校朝会

27日 水泳指導終

28・29日 中間考査